

セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年 4月 28日

施設名 苫小牧市民会館

指定管理者名 北海道クリーン開発・北海道共立コンソーシアム

所管課名 苫小牧市市民生活部市民生活課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画どおり 適切に管理運営を行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利便性向上は図る事が出来た。	A・Ⓑ・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか (目標値を設定していないその他の施設)。	/	A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	感染防止対策で1件開催はできなかったが、他の自主事業を開催し計7件の開催ができた	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	市の関係機関やワクチン接種による協力体制を努めています。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートでは、施設全般として92%の利用者から大変満足・満足の回答をいただきました。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	提案箱、アンケート調査等で意見・要望の把握に努めています。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情については館としての説明責任を十分果たすように努め、可能な限り改善に取り組みました。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	特に、光熱水費、消耗品などについては十分な取り組みにより、節減することができました。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託費についてはほとんどが専門的な知識や技術を要する業務ですが契約期間を複数年にすることで経費が最小限になるよう努めています。	Ⓐ・B・C・D・E

収入増加のための取組はされているか。	ホール、会議室の空きを埋めるべく申請等の取扱方法を見直しました。	Ⓐ・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正な配置及び管理体制に努めております。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	各種の研修やセミナーに職員を参加させ資質向上に努めました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	条例、規則、内規等に基づき、適切に処理しています。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	専用保管庫の施錠確認と開閉管理簿により情報の出入り管理をしています。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適切に処理しております。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施しております。	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	収入・支出書類、備品台帳など適正に管理しております。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	日常点検・定期点検の中で、緊急性・危険性がある場合には早急措置をし、報告・連絡・相談する体制としています。	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	関係法令等を遵守し適正に管理しています。	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	可能な限り地元を優先させております。	Ⓐ・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

指定管理者の自己評価(全体を通して)

平成25年度から受託しました指定管理業務も、特に大きなトラブルもなく10年を経過し、今年度も無事に業務を遂行することができました。この間、条例や規則、内規等を遵守し公平・公正な会館運営と利用者の利便性の向上に努めてまいりました。こうした館の運営方針は確実に定着することができたものと思っております。

当市民会館は開館以来54年が経過する老朽施設ですが、来館者に少しでも気持ちよく利用していただく為に一貫して、館内の清掃、建物周辺と構造物の環境整備に力を入れております。その点は毎年実施している利用者アンケートの結果においても一定の評価を得ることができていると実感しております。

利用者への利便性向上として促進しておりました、無線LANサービスについては今年度総計94件の利用があり、ポスターやパンフレットの掲示配布を行い一段と周知を進め会場利用が更に加速できたと感じております。

また、コロナ禍から一定程度様々な制限が緩和され今年度の利用料収入についても5千万円に達する事ができコロナ禍における補填金が必要ない程にまで回復する事ができました。

自主事業については、一定の制限の緩和を受け令和3年度以上に積極的にを行い広告なども踏まえ大々的にPRを行う事もでき、コロナ以前の自主事業回数と内容を開催出来たと思っております。また、初の開催であります「お花を植えようプロジェクト」についてもご参加いただいた方は少なかったですが、春から夏にかけて市民会館の景観改善にも一定程度の効果を及ぼしていることから、次年度におかれましては、更に周知を進め参加者数を増やせるように努めてまいりたいと思っております。